

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

6月	午前 ①10:00～ ②11:15～	午後 ③13:15～ ④14:30～
1月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
2火	休 館 日	
3水	生きのびるために（双葉町）	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）
4木	置き去りにされた動物（浪江町）	震災経験とその後の活動（南相馬市）
5金	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと（南相馬市）
6土	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
7日	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）	ふるさとで暮らす（大熊町）
8月	あの日の震災から学んだこと（富岡町）	“東日本大震災と原発事故”-そして今-（双葉町）
9火	休 館 日	
10水	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）	双葉の子どもたち（双葉町）
11木	震災発生から全町避難を振り返って（富岡町）	長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町）
12金	役場職員 震災直後の5日間（浪江町）	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）
13土	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）	紙芝居で伝えたいこと（浪江町）
14日	当時11歳にとつての東日本大震災（富岡町）	自分の命を守る（いわき市）
15月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	原発事故の後で学校・子どもたちに起きたこと（南相馬市）
16火	休 館 日	
17水	震災経験とその後の活動（南相馬市）	あの日を忘れない～私の震災の記憶と教訓～ 「あの時」と思うこと（南相馬市）
18木	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	「当たり前」はない（大熊町）
19金	震災時の体験と伝えたいこと（大熊町）	“東日本大震災と原発事故”-そして今-（双葉町）
20土	震災・避難・現在の歩み（富岡町）	変わりゆくふるさと それでも前を向いて（双葉町）
21日	当時11歳にとつての東日本大震災（富岡町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
22月	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
23火	休 館 日	
24水	震災紙芝居（浪江町）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
25木	福島第一原発事故における病院避難について （東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
26金	生きのびるために（双葉町）	役場職員 震災直後の5日間（浪江町）
27土	10:00～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 11:15～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）	13:15～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 14:30～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）
28日	紙芝居『菜の花物語』（南相馬市）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）
29月	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～（双葉町）	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）
30火	休 館 日	

※タイトル横の（ ）内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2026/6/5現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。